

# 2018年天皇杯全日本レスリング選手権 展望

※エントリーは、世界選手権代表と、その階級の全日本選抜選手権 1～3 位選手以外はアイウエオ順

## ◎男子フリースタイル

### 【57kg 級】

《2018年世界選手権 3位

／全日本選抜選手権優勝》

高橋侑希 (ALSOK)

《2018年世界選手権代表

／全日本選抜選手権 61kg 級優勝》

小柳和也 (自衛隊)

《2018年全日本選抜選手権 2位》

長谷川敏裕 (日体大)

《2018年全日本選抜選手権 3位》

岡田幹大 (日体大)

《2018年全日本選抜選手権 3位》

新井陸人 (日体大)

阿部敏弥 (国土舘大)

荒木大貴 (専大)

有延大輝 (築上クラブ)

伊藤 優 (長崎県協会)

岩澤 侃 (早大)

大城一晟 (自衛隊)

金子功誠 (専大)

清岡幸太郎 (高知・高知南高)

諏訪間翔太郎 (拓大)

田代拓海 (福岡大)

寺田有輝 (国土舘大)

永本竜平 (中京学院大)

森川海舟 (東京・自由ヶ丘学園高)

守田泰弘 (徳山大職)

山口海輝 (日体大)

山根典哲 (香川・多度津高)

昨年の世界王者で今年の世界選手権 3 位の高橋侑希 (ALSOK) が 3 連覇を目指し、61kg 級で世界選手権出場を果たした小柳和也 (自衛隊) がその牙城に挑む。小柳は昨年秋までは 57kg 級で闘っており、いずれ 57kg 級に戻ることを前提に 61kg 級に参戦。ワールドカップで世界 3 位の選手を破るなどした。61kg 級の“修業”の成果を出せるか。

全日本学生選手権を制し U23 世界選手権で優勝した長谷川敏裕 (日体大)、国体と全日本大学選手権を制した新井陸人 (日体大) のほか、本来 57kg 級ながら全日本大学選手権 61kg 級を制した山口海輝 (日体大)、JOC 杯ジュニア優勝の荒木大貴 (専大) らの学生選手の殊勲はあるか。

55・60kg 級にわたって高校三冠王者 (全国高校選抜大会、インターハイ、国体) に輝いた森川海舟 (東京・自由ヶ丘学園高) が、どこまで上位に食い込めるか。

## 【61kg 級】

### 《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

有元伸悟（近大職）

### 《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

藤田雄大（青山学院大）

秋山拓未（九州共立大）

飯田 陽（法大）

井出光星（専大）

伊藤 奨（早大大学院）

小川航大（日体大）

菊地 憲（ALSOK 秋田）

佐々木虎次郎（専大）

清水蚩汰（拓大）

高安直人（高安組）

但野 航（ニトリ）

辰島優輝（九州共立大）

田縁真大（日大）

永田丈治（国士舘大）

中田 陽（三重・朝明高教）

中野晶太（高知・高知東高教）

中村勇士（島根・隠岐島前高）

早山竜太郎（拓大）

吉村拓海（早大）

昨年優勝で今年の世界選手権代表の小柳和也（自衛隊）は 57kg 級にエントリー。昨年と今年 of 全日本選抜選手権 2 位の有元伸悟（近大職）が空いた座を狙う。2016 年世界選手権代表の有元は、一昨年、昨年と、男子フリースタイルでは 1984 年の石森宏一（大体大）以来の西日本大学出身選手の優勝が期待されたが、かなわなかった。今年 is 実現できるか。

世界大学選手権 57kg 級で優勝し国体はこの階級で優勝した藤田雄大（青山学院大）、全日本学生選手権優勝の田縁真大（日大）、同 2 位の吉村拓海（早大）ら学生勢のほか、全日本社会人選手権優勝の中田陽（三重・朝明高教）が優勝争いにかからめるか。

## 【65kg 級】

《2018 年世界選手権優勝

／全日本選抜選手権優勝》

乙黒拓斗（山梨学院大）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

樋口 黎（日体大助手）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

阿部宏隆（サコス）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

清水洗希（拓大）

安楽龍馬（早大）

伊藤和真（EH）

上野裕次郎（日体大）

鏡 隼翔（法大）

鴨居正和（自衛隊）

川野陽介（自衛隊）

金城希龍（自衛隊）

榊 大夢（山梨学院大）

逆井琉偉（日大）

嶋江翔也（日体大）

高谷大地（自衛隊）

田口大輔（九州共立大）

谷口智紀（和歌山・和歌山北高）

谷山拓磨（拓大）

寺田光輝（福岡大助手）

中西敦也（日本文理大）

中村剛士（専大）

中村倫也（博報堂 DY スポーツ）

仁木智大（中京学院大）

福田東記（国士舘大）

船木拓也（自衛隊）

三輪大珠（和歌山県協会）

山崎幹太郎（法大）

米澤 圭（早大）

今年の世界選手権で日本男子史上最年少の王者に輝いた乙黒拓斗（山梨学院大）に、U23 世界選手権で優勝した樋口黎（日体大助手）、昨年優勝でアジア大会銀メダルの高谷大地（自衛隊）が挑む。世界で実績のある 3 選手の闘いは熾烈を極めそう。乙黒は世界選手権で負った足首の負傷のため 11 月の全日本大学選手権を棄権した。回復具合はどうか。

61kg 級で昨年の世界選手権 5 位・U23 世界選手権優勝の中村倫也（博報堂 DY スポーツ）がこの階級でも通じるか。世界大学選手権優勝の米澤圭（早大）、昨年の世界選手権代表で今年の国体優勝の鴨居正和（自衛隊）ら世界で実績のある選手が優勝争いにかからむか。

全日本社会人選手権優勝の船木拓也（自衛隊）、全日本学生選手権優勝の安楽龍馬（早大）、アジア・ジュニア選手権優勝で全日本大学選手権も制した谷山拓磨（拓大）ら若い選手の突き上げも予想される。

## 【70kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権 2 位》

乙黒圭祐（山梨学院大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

中村優太（専大）

伊藤 駿（早大）

木村優太（専大）

坂野秀堯（日大）

坂本栄裕（山梨・須玉中教）

志賀晃次郎（拓大）

砂川航祐（高安組）

諏訪間新之亮（佐賀・鳥栖工高）

瀬野春貴（日体大）

西 海静（日本文理大）

西村拓真（山口・田布施農工高職）

原口 伸（国土館大）

松田健悟（青山学院大職）

米澤凌（早大）

昨年優勝で世界選手権代表の乙黒圭祐（山梨学院大）が2連覇を目指す。世界選手権代表を争った基山仁太郎（日体大）は74kg級へ上げたので、11月の全日本大学選手権決勝で敗れた志賀晃次郎（拓大）が最大のライバルとなるか。志賀はアジア・ジュニア選手権で3位になって全日本大学選手権を制するなど昇り調子。乙黒を再度破って日本一を手にできるか。

全日本学生選手権2位で国体74kg級を制した伊藤駿（早大）が優勝争いに加われるか。全日本大学選手権3位の中村優太（専大）、同選手権で志賀を追い詰めた全日本学生選手権3位の坂野秀堯（日大）らの上位進出はあるか。

## 【74kg 級】

《2018 年世界選手権代表》

藤波勇飛（山梨学院大）

《2018 年全日本選抜選手権優勝》

保坂 健（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

三輪優翔（日体大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

尾形 颯（中大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

吉田隆起（拓大）

井筒 諒（日体大）

梅林太朗（早大）

奥井眞生（自衛隊）

木下貴輪（クリナップ）

近藤達矢（KD CRAFT）

高橋翔平（＝自衛隊）

武田海喜（日本文理大）

多胡島伸佳（KATSURA group）

中村百次郎（佐賀県協会）

本間賢志（日大）

水野真斗（AACC）

基山仁太郎（日体大）

安江 巧（立命館大）

山崎弥十朗（早大）

横山凜太郎（山梨学院大）

昨年の世界選手権 70kg 級 3 位で、今年はこの階級で世界選手権に出場した藤波勇飛（山梨学院大）が優位な状態。世界選手権後の全日本大学選手権でも圧勝で 4 連覇を達成し、揺るぎない実力を見せている。

世界選手権代表を争った保坂健（自衛隊）、世界大学選手権 2 位の奥井眞生（自衛隊）、同 70kg 級優勝の木下貴輪（クリナップ）らの社会人勢がどう挑むか。奥井は世界大学選手権で 2 位、木下は同 70kg 級優勝と国際舞台で結果を出した。

世界大学選手権 79kg 級 2 位で階級を下げた山崎弥十朗（早大）、JOC 杯優勝の三輪優翔（日体大）、70kg 級から階級を上げた U-23 世界選手権 3 位の基山仁太郎（日体大）、全日本学生選手権優勝の尾形颯（中大）ら学生勢の台頭はあるか。

## 【79kg 級】

### 《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

阿部侑太（日体大）

赤地俊樹（アカチコーポレーション）

井筒勇人（拓大）

加賀谷庸一郎（和歌山県教育庁）

加藤一人（日本文理大）

川畑孔明（東洋大）

栗原大知（国士舘大）

須藤智将（SKアカデミー）

高橋夢大（京都・網野高）

坪井達紀（ワセダクラブ）

眞柴翔平（近大）

## 【86kg 級】

### 《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

白井勝太（日大大学院）

### 《2018 年世界選手権 79kg 級代表

／全日本選抜選手権 79kg 級優勝》

高谷惣亮（ALSOK）

### 《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

松坂誠應（自衛隊）

### 《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

松雪泰成（専大）

### 《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

村山貴裕（自衛隊）

浅井 翼（茨城県競技力向上対策本部）

飯村友基（国士舘大）

石黒隼士（日大）

牛水瑞貴（山梨学院大）

白井達也（千葉・日体大柏高）

谷崎 匠（山梨学院大）

奈良部嘉明（筑西広域消防本部）

錦戸祐也（日体大）

八木海里（中大）

山田修太郎（山梨学院大）

世界選手権代表の高谷惣亮(ALSOK)は 86kg 級に出場。昨年大会と今年 of 全日本選抜選手権でそれぞれ 2 位の選手（浅井翼、山崎弥十朗）も階級を変え、本命なき階級となった。

全日本選抜選手権 3 位で全日本学生選手権 2 位の阿部侑太（日体大）、JOC 杯 74kg 級 3 位の井筒勇人(拓大)に大きなチャンスがある。他に、西日本学生選手権優勝の加藤一人（日本文理大）、同 2 位の眞柴翔平（近大）が西日本大学の意地を見せるか。

昨年優勝で今年の世界選手権代表の白井勝太（日大大学院）、昨年 2 位の松坂誠應（自衛隊）の争いに、74・79kg 級で国内外の実績を持つ高谷惣亮（ALSOK）が参戦する。階級アップの壁を乗り越えられるか。

全日本選抜選手権 3 位の村山貴裕(自衛隊)、1 年生で全日本学生選手権を制した山田修太郎（山梨学院大）、全日本大学選手権を制した松雪泰成（専大）らがどう挑むか。

アジア選手権 79kg 級 3 位の浅井翼（茨城県競技力向上対策本部）、1 年生で全日本学生選手権 79kg 級を制し世界ジュニア選手権でも勝った石黒隼士（日大）ら階級アップ組の殊勲はあるか。

## 【92kg 級】

《2018 年世界選手権 3 位

／全日本選抜選手権優勝》

松本篤史（警視庁）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

吉田ケイワン（日大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

内藤由良（国土館大）

秋本 瞭（山口産業）

大津拓馬（山梨学院大）

執行優大（福岡大）

芝 知樹（立大）

柴田一磨（大東大）

竹内亮亘（ALSOK）

山中良一（愛知・名古屋工高教）

山根光司（中大）

## 【97kg 級】

《2018 年世界選手権 9 位

／全日本選抜選手権 3 位》

山口 剛（ブシロード）

《2018 年全日本選抜選手権優勝》

赤熊猶弥（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

園田 平（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

二ノ宮寛斗（明大）

石黒峻士（日大）

恒石昌輝（専大）

福井裕士（自衛隊）

藤田祐輔（日亜化学工業）

寶諸将人（同志社大）

宮原尚之（中京学院大）

山本康稀（日大クラブ）

吉川裕介（自衛隊）

全日本選抜選手権優勝の松本篤史（警視庁）が世界選手権で銅メダルを獲得した。オリンピック階級への変更も予想されたが、この階級で日本一を目指す。

世界代表を争った石黒峻士（日大）が 97kg 級に上げたので、最大のライバルは全日本学生選手権 2 位の内藤由良（国土館大）となるか。国体でも 3 位に入るなど力をつけている。

アジア・ジュニア選手権 2 位の大津拓馬（山梨学院大）、全日本学生選手権 2 位の吉田ケイワン（日大）、全日本社会人選手権優勝の山中良一（愛知・名古屋工高教）らが優勝争いに加わってこられるか。

昨年優勝で世界選手権代表の山口剛（ブシロード）に、全日本選抜選手権優勝の赤熊猶弥（自衛隊）、同 2 位の園田平（自衛隊）が挑む。

昨年の国体では、園田が山口を 6-4 で破り、全日本選手権決勝では山口が園田に 3-2 でリベンジ。今年 6 月の全日本選抜選手権では、赤熊が準決勝で山口を 3-3 で破り、決勝で園田を 9-0 で下して優勝。その後の世界選手権代表プレーオフで山口が赤熊に 14-8 でリベンジ。三者の実力は横一線状態。

全日本社会人選手権優勝の吉川裕介（自衛隊）、全日本学生選手権優勝の二ノ宮寛斗（明大）、同 92kg 級優勝で昨年の 92kg 級チャンピオンの石黒峻士（日大）らが優勝戦線に加われるか。

## 【125kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

山本泰輝（拓大）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

荒木田進謙（athletic camp LION）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

金澤勝利（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

田中哲矢（自衛隊）

赤城玲央（中大）

井上 樹（徳山大）

富栄雅秀（山梨学院大）

外山宏太（東洋大）

樋口卓弥（ワールド・プランニング）

藤本 歩（山梨学院大）

武藤翔吾（中大）

森 右秀（中京学院大）

山本泰丈（日大）

米川優人（明大）

2 年連続世界選手権代表の山本泰輝（拓大）が、昨年、荒木田進謙（athletic camp LION）に奪われた日本一の座の奪還に挑む。世界選手権は初戦敗退に終わったが、その後、全日本大学選手権で優勝するなど好調。

荒木田は世界選手権代表決定プレーオフで敗れて日本代表を逃したが、国体のグレコローマン 130kg で 2 位へ。スタイルを超えた地力を見せた。復帰して 1 年半以上。実力がどこまで戻っているか。

全日本選抜選手権 3 位の田中哲矢（自衛隊）と金澤勝利（自衛隊）が、今度こそ決勝へ進めるか。金澤は国体グレコローマン 130kg 級で荒木田を破って優勝する实力を見せた。全日本学生選手権優勝の山本泰丈（日大）も優勝争いに加わる実力はあるはず。



## ◎男子グレコローマン

### 【55kg 級】

#### 《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

小川翔太（日体大）

#### 《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

片桐大夢（拓大）

稲葉海人（日体大）

大谷康太（マルワジム横浜）

小野弘運（徳山大）

加藤万豊（明大）

小坂健太（国土舘クラブ）

齋藤僚太（法大）

塩谷 優（東京・自由ヶ丘学園高）

比嘉優太（神奈川大）

槇本大輔（徳山大）

松井 謙（岐阜・中京学院大附中京高）

宮原 潤（国土舘大）

山口純平（日体大）

### 【60kg 級】

#### 《2018 年世界選手権 9 位

／全日本選抜選手権優勝》

太田 忍（ALSOK）

#### 《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

清水早伸（自衛隊）

#### 《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

河口 清（九州共立大）

#### 《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

藤波諒太郎（専大）

神田優人（中京学院大）

桑山裕貴（専大）

郡野 海（専大）

清水賢亮（拓大）

菅原幹太（東洋大）

曾我部京太郎（愛媛・今治西高）

高橋三四郎（山梨学院大）

文田健一郎（ミキハウス）

矢部和希（日体大）

昨年優勝で世界選手権代表の田野倉翔太（東京・自由ヶ丘学園高教）は不出場。全日本選抜選手権 2 位で JOC 杯優勝、学生二冠王の小川翔太（日体大）がこのチャンスを生かせるか。国体 60kg 級でも 3 位に入賞し、U23 世界選手権でも 5 位入賞と力をつけている。

全日本選抜選手権 3 位で世界大学選手権 2 位の片桐大夢（拓大）、全日本学生選手権 3 位の稲葉海人（日体大）らが、その牙城を崩せるか。

2016 年リオデジャネイロ・オリンピック 59kg 級銀メダルで今年のアジア大会優勝の太田忍（ALSOK）と、昨年の 59kg 級世界チャンピオンの文田健一郎（ミキハウス）との激突が再現されるか。太田は世界選手権で上位進出を逃し、文田は U-23 世界選手権優勝と結果を出した。

全日本選抜選手権決勝で太田と接戦を展開した清水早伸（自衛隊）も、7 月のベビー・エムレ&ハミト・カプラン国際大会（トルコ）で銅メダルを取り、10 月の国体優勝など好調。優勝争いに加われるか。

全日本選抜選手権 3 位で学生王者の藤波諒太郎（専大）、世界ジュニア選手権 3 位の矢部和希（日体大）が優勝争いに加われるか。高校生では、全国高校生グレコローマン選手権と国体で優勝した曾我部京太郎（愛媛・今治西高）が、どこまで健闘できるか。

## 【63kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

遠藤功章（日体大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

山田義起（日体大）

有延天志（国士舘大）

池田龍斗（日体大）

石川将樹（拓大）

大野恵太郎（熊本・玉名工高）

大山允長（青山学院大）

川村倫平（静岡クラブ）

合田直記（法政クラブ）

小柴亮太（日体大）

島谷東志（大東大）

徳比嘉一仁（日体大）

梨木 悠（日体大）

東本拓真（近大）

安中友茂（石川・志賀高教）

吉川航平（秋田・秋田商高教）

善積築久（徳山大）

吉永信太郎（専大）

世界選手権代表でU-23世界選手権優勝の遠藤功章（日体大）に勢いがある。プレーオフで世界選手権代表を争った井ノ口崇之（自衛隊）は67kg級にエントリーしたので、初優勝の可能性は高まったといえよう。

全日本大学グレコローマン選手権優勝の山田義起（日体大）との同門対決が実現するか。同2位の有延天志（国士舘大）、JOC杯優勝の島谷東志（大東大）らが日体大の2人の前に立ち上がるか。

## 【67kg 級】

《2018 年世界選手権 9 位

／全日本選抜選手権優勝》

下山田培（警視庁）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

高橋昭五（警視庁）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

小林大樹（日体大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

川瀬克祥（シリウス EHC）

井ノ口崇之（自衛隊）

宇井大和（早大）

上垣勇二（自衛隊）

影山大洋（滋賀レイクスターズ）

勝野亮希（神奈川大）

河名真寿斗（クリナップ）

北岡佑介（自衛隊）

小池波也登（神奈川大）

小林克也（国土舘大）

小林大悟（山梨・農林高）

澤田夢有人（日体大）

田口学容（中京学院大）

中橋 涼（日体大）

中村拓磨（専大）

藤島雄太（拓大）

堀江耐志（徳山大）

松井 涼（バイテックホールディングス）

森 俊樹（森エンタープライズ）

山本貴裕（日体大大院）

今年の世界選手権代表の下山田培（警視庁）、  
昨年の世界選手権代表の高橋昭五（警視庁）、全  
日本選抜選手権 3 位の川瀬克祥（シリウス EHC）  
の争いが続くか。

下山田は 2 月のアジア選手権で現役世界王  
者を破って 2 位、高橋は 9 月のピトラシンス  
キ国際大会（ポーランド）72kg 級で 5 位、川  
瀬は同 67kg 級 3 位と、いずれも海外での実績  
をつくっている。海外での実績なら、U23 世界  
選手権 5 位となった中橋涼（日体大）が若い力  
を見せられるか。

ここに、昨年の U-23 世界選手権 59kg 級優  
勝の河名真寿斗（クリナップ）、昨年の全日本選  
手権 63kg 級優勝の井ノ口崇之（自衛隊）、同 2  
位の松井涼（バイテックホールディングス）、  
今年の世界大学選手権 63kg 級優勝の北岡佑介  
（自衛隊）、同 72kg 級 2 位の山本貴裕（日体大  
助手）が参戦する。階級変更組の上位進出はあ  
るか。

河名は国体 67kg 級に出場して優勝。59kg 級  
時代の 2016 年には 71kg 級で大学王者に輝い  
ており、階級の違いを乗り越える強さがある。

## 【72kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

井上智裕 (FUJIOH)

阿部結太 (青山学院大)

大賀 遙 (神奈川大)

河部直樹 (中京学院大)

日下 尚 (香川・高松北高)

倉野真之介 (横浜市消防局)

近藤雅貴 (警視庁)

齋藤隼佑 (早大)

塩崎 剛 (尾鷲総合病院)

島袋慶生 (日体大)

下地恵永 (専大)

為房虎太郎 (同志社大)

富塚拓也 (育英大)

野本州汰 (早大)

北條良真 (神奈川大)

前田明都 (専大)

山本雅也 (九州共立大)

2016 年リオデジャネイロ・オリンピック 66kg 級 5 位で今年の世界選手権代表の井上智裕 (FUJIOH) が抜け出ている状況。オリンピック階級への変更も予想されたが、この階級でベース作りに挑む。圧勝して来春のオリンピック階級挑戦につなげたいところ。

学生二冠王者の前田明都 (専大)、全日本学生選手権 2 位の大賀遙 (神奈川大)、全日本大学グレコローマン選手権 2 位の山本雅也 (九州共立大) から学生選手がどう挑むか。

7 月のアジア・ジュニア選手権で高校生ながら銅メダルを獲得した日下尚 (香川・高松北高) は、全国高校生グレコローマン選手権と国体で優勝。将来を感じさせる闘いを見せられるか。

## 【77kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

屋比久翔平 (ALSOK)

《2018 年世界選手権 82kg 級代表

／全日本選抜選手権 2 位》

前田祐也 (鳥取・鳥取中央育英高職)

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

葛谷拳龍 (神奈川大)

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

泉 武志 (一宮グループ)

一郷雄徳 (大東大)

一瀬 剣 (関大)

宇野寿倫 (岡山・関西高職)

亀井竜昇 (NTC コンサルタンツ)

北川幸一 (松阪クラブ)

小室裕大 (自衛隊)

櫻庭功大 (拓大)

下山田周 (日体大)

小路直頌 (自衛隊)

田代英才 (国土舘大)

花山和寛 (自衛隊)

林 雷 (日体大)

藤原 稜 (愛媛県協会)

山崎翔馬 (九州共立大)

世界選手権代表の屋比久翔平 (ALSOK) が 4 連覇を目指す一方、世界選手権 82kg 級代表の前田祐也 (鳥取・鳥取中央育英高職) が階級を落として 4 連覇を目指す。両者は昨年 of 愛媛国体の決勝で闘っており、この時は屋比久が 3-2 で勝っている。精神的な優位はあるか。

2015 年に 66kg 級で、昨年は 71kg 級で世界選手権に出場している泉武志 (一宮グループ) は、昨年大会 2 位で、今年 of 全日本選抜選手権は 3 位。10 月の国体では前田を破って優勝しており、この階級でも実力を発揮。三者の実力は接近している。

昨年 72kg 級 2 位の花山和寛 (自衛隊) も今年 7 月から階級を上げ、全日本社会人選手権優勝と実力を見せた。全日本選抜選手権 3 位の葛谷拳龍 (神奈川大)、全日本学生選手権優勝の櫻庭功大 (拓大)、昨年 of 学生二冠王者 of 林雷 (日体大) らが優勝戦線に加わることができるか。

## 【82kg 級】

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

藤井達哉（青山学院大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

川村洋史（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

北村公平（京都クラブ）

今村太陽（福岡大）

岡嶋勇也（警視庁）

小林康介（神奈川大）

佐々木雄大（明大）

田中真男（日体大）

勅使川原延明（日体大）

野崎竜陽（中京学院大）

松崎勇人（日体大）

向井識起（自衛隊）

渡辺一輝（五十嵐建設）

## 【87kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／2018 年全日本選抜選手権優勝》

角 雅人（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

岡 太一（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

島田 樹（帝塚山大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

塩川 貫太（クリナップ）

稲葉大瑛（松阪クラブ）

岩田直之（大東大）

隈部吉伸（九州共立大）

坂野修平（TSS プロダクション）

田中颯人（関大）

堤 卓哉（中大）

鶴田 大（自衛隊）

奈須川良太（神奈川大）

前田鴻介（国士舘大）

山中憲一（高松クラブ）

昨年まで3連覇しており、今年の世界選手権代表の前田祐也（鳥取・鳥取中央育英高職）は77kg 級にエントリー。空いた座を、昨年2位で今年全日本社会人選手権87kg 級優勝の岡嶋勇也（警視庁）、全日本学生選手権優勝で世界大学選手権2位の藤井達哉（青山学院大）、全日本学生選手権2位の勅使川原延明（日体大）らが争う。

全日本大学グレコローマン選手権優勝の野崎竜陽（中京学院大）が西日本大学の意地を見せられるか。全日本選抜選手権3位の川村洋史（自衛隊）と北村公平（京都クラブ）の社会人選手が優勝戦線に浮上してくるか。

昨年優勝で今年の世界選手権代表の角雅人（自衛隊）と全日本選抜選手権2位の岡太一（自衛隊）の同門決戦が続くか。昨大会、今年6月の全日本選抜選手権とも角が2-1で勝利。今回も1点をめぐる緊迫した闘いとなるか。

全日本選抜選手権82kg 級優勝で国体87kg 級を制した鶴田峻大（自衛隊）がこの階級にエントリーし、自衛隊の強豪がもう一人加わった。同門対決の行方は？

昨年3位で今年国体97kg 級を制した塩川貫太（クリナップ）、1年生で全日本学生選手権を制した奈須川良太（神奈川大）、全日本選抜選手権3位で西日本学生選手権97kg 級優勝の島田樹（帝塚山大）らが自衛隊選手の上位独占を阻止したいところ。

## 【97kg 級】

《2018 年世界選手権代表  
／全日本選抜選手権優勝》

奈良勇太（警視庁）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

志喜屋正明（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

松本直毅（早大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

天野雅之（中大職）

有菌拓真（ALSOK）

石井良祐（専大）

井上諒汰（中大）

白鳥慶樹（日体大）

出口滋文（日体大）

仲里優力（日体大）

中村隆太（東洋大）

饒波正眞（九州共立大）

宮本海渡（千葉・日体大柏高）

山下拓也（拓大）

米平安寛（日本ウェルネススポーツ大職）

## 【130kg 級】

《2018 年世界選手権代表  
／全日本選抜選手権優勝》

園田 新（ALSOK）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

谷田昇大（和歌山県教育庁）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

日坂侃生（山口産業）

奥村総太（滋賀・栗東高）

貝塚賢史（茨城県競技力向上対策本部）

河野隆太（あづまフーズ）

庄司 樹（専大）

菅野雅之（日体大）

鈴木翔真（拓大）

2年連続世界選手権代表の**奈良勇太（警視庁）**が変わらぬ強さを見せるか。今年の世界選手権以外にも3月にアジア選手権、8月にアジア大会、11月にU23世界選手権と大舞台に出場。貴重な経験が実力アップにつながっているか。

昨年大会と今年全日本選手権で、ともに決勝で奈良に敗れた**志喜屋正明（自衛隊）**がリベンジできるか。あと一步の壁を乗り越えなければなるまい。

ここに、2015年世界選手権代表の**米平安寛（日本ウェルネススポーツ大職）**が、全国社会人オープン選手権優勝の実績を持って復帰参戦する。奈良が日体大に進んだ時、全日本のトップレベルにいた選手。復帰して日が浅いので現在の全日本レベルでの実力は未知数だが、元日本代表の実力を発揮して一気に栄冠を勝ち取れるか。

全日本学生選手権優勝の**山下拓也（拓大）**、全日本大学グレコローマン選手権2位の**饒波正眞（九州共立大）**の学生勢の台頭はあるか。

世界選手権4大会連続出場で、この大会5連覇を目指す**園田新（ALSOK）**がどんな強さを見せるか。8月のアジア大会で銅メダルを獲得する殊勲を挙げながら、世界選手権では結果を出せなかった。世界へ再挑戦するためにも、国内では圧勝し、第一人者の実力を見せたい。

昨年大会と今年全日本選抜選手権でともに2位の**谷田昇大（和歌山県教育庁）**が、今度はどう挑むか。全日本選抜選手権3位の**日坂侃生（山口産業）**、世界大学選手権とU23世界選手権出場の経験を積んだ**貝塚賢史（茨城県競技力向上対策本部）**らが、どこまで園田の牙城に近づけるか。

## ◎女子

### 【50kg 級】

《2018 年世界選手権優勝

／全日本選抜選手権優勝》

須崎優衣（早大）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

入江ゆき（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

登坂絵莉（東新住建）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

五十嵐未帆（至学館大）

大高梨紗（至学館大）

加賀田葵夏（青山学院大）

澤田千優（青山学院大）

中村未優（Sports Design Lab）

吉元玲美那（埼玉・埼玉栄高）

### 【53kg 級】

《2018 年世界選手権優勝

／全日本選抜選手権優勝》

奥野春菜（至学館大）

《2018 年世界選手権 55kg 級優勝

／全日本選抜選手権 55kg 級優勝》

向田真優（至学館大）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

宮原 優（博報堂 DY スポーツ）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

矢後佑華（警視庁）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

角谷萌々果（アイシン・エイ・ダブリュ）

今井佑海（京都・海洋高）

入江ななみ（福井県スポーツ協会）

小西 桂（至学館大）

水口瑠子（日体大）

昨年の 48kg 級に続いて世界選手権を連覇した須崎優衣（早大）に、昨年優勝の入江ゆき（自衛隊）、負傷からの復活を期す登坂絵莉（東新住建）が挑む。須崎は 9 月の世界ジュニア選手権も勝つなど、今年は白星街道をばく進。入江、登坂がその勢いを止められるか。ただ、11 月の全日本合宿で負傷したことが伝えられており、その回復具合はどうか。

全日本選抜選手権 3 位の五十嵐未帆（至学館大）は、世界大学選手権で勝ち、U23 世界選手権は 2 連覇を達成。国際舞台での実績をもって初優勝に挑む。

全日本学生選手権優勝の加賀田葵夏（青山学院大）、全日本女子オープン選手権優勝の中村未優（Sports Design Lab）が優勝戦線に加われるか。

世界選手権優勝 55kg 級優勝の向田真優（至学館大）がこの階級にエントリー。この階級の世界チャンピオン、奥野春菜（至学館大）との闘いは、両選手にとって世界選手権決勝より厳しい闘いか。過去の対戦は向田の 8 戦全勝だが、奥野が世界一になったあとは実現していない。

全日本選抜選手権 2 位の宮原優（博報堂 DY スポーツ）、国体優勝の入江ななみ（福井県スポーツ協会）、同 2 位の今井佑海（京都・海洋高）、U23 世界選手権優勝の角谷萌々果（アイシン・エイ・ダブリュ）、昨年のアジア・インドア&マージャーナル大会優勝の矢後佑華（警視庁）らが両者の闘いに割って入れるか。

国内で世界チャンピオン同士が激突した例は 10 例（男子 1、女子 9）あるが、今回、実現するかどうか分からない激戦階級と言える。



## 【55kg 級】

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

五十嵐彩季（至学館大）

谷山菜緒（法大）

永本聖奈（愛知・至学館高）

東川加奈（至学館大）

昨年 2 位の五十嵐彩季（至学館大）が今年、シニアのアジア選手権、世界ジュニア選手権、U23 世界選手権で優勝と勢いがある。シニアの国際舞台でも結果を出す実力で初の全日本チャンピオンに輝くか。

全日本女子オープン選手権優勝の谷山菜緒（法大）がその勢いを阻止できるか。永本聖奈（愛知・至学館高）はアジア・ジュニア選手権で優勝と成長途上。優勝戦線に浮上できるか。

## 【57kg 級】

《2018 年世界選手権 59kg 級優勝

／全日本選抜選手権 59kg 級優勝》

川井梨紗子（ジャパンビバレッジ）

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

坂上嘉津季（ALSOK）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

南條早映（至学館大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

浜田千穂（キッコーマン）

2016 年リオデジャネイロ・オリンピック 63kg 級、昨年の世界選手権 60kg 級、今年の世界選手権 59kg 級優勝の川井梨紗子（ジャパンビバレッジ）と、オリンピック 4 連覇の伊調馨（ALSOK）がエントリー。オリンピック金メダリスト同士の激突が実現するか。

過去の対戦成績は伊調が 3 戦全勝だが、川井が世界一になる前の対戦。オリンピック・チャンピオン同士の激突となれば、日本では男女を通じて初となる。

2 年連続世界選手権代表でアジア大会 3 位の坂上嘉津季（ALSOK）。昨年 2 位で、2014 年世界選手権 55kg 級優勝の浜田千穂（キッコーマン）の社会人選手がどう挑むか。

伊調 馨（ALSOK）

澤葉菜子（至学館大）

花井瑛絵（至学館大）

望月英早乃（自衛隊）

若手では、U23 世界選手権 2 位の花井瑛絵（至学館大）、世界ジュニア選手権優勝の澤葉菜子（至学館大）、同 59kg 級 2 位の南條早映（至学館大）らが、新旧世界一の選手に挑む。

## 【59kg 級】

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

岩澤希羽（至学館大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

田南部夢叶（日体大）

稲垣柚香（愛知・至学館高）

入江くみ（九州共立大）

負傷による戦線離脱から復帰した入江くみ（九州共立大）が全日本学生選手権と全日本女子オープン選手権を連続で勝ち抜き、実力を見せている。2014・15 年インターハイ連続優勝、2015 年アジア・ジュニア選手権優勝など地力のある選手。完全復活を見せられるか。

全日本選抜選手権 3 位の岩澤希羽（至学館大）と田南部夢叶（日体大）、インターハイ優勝の稲垣柚香（愛知・至学館高）が一気に栄冠を勝ち取るか。

## 【62kg 級】

《2018 年世界選手権 2 位

／全日本選抜選手権優勝》

川井友香子（至学館大）

《2018 年世界選手権 65kg 級 3 位

／全日本選抜選手権 65kg 級 3 位》

源平彩南（至学館大）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

伊藤友莉香（自衛隊）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

小玉彩天奈（早大）

今川朋乃伽（日体大）

今井海優（自衛隊）

葛谷美瑠（日体大）

熊野ゆづる（日大）

坂野結衣（警視庁）

森川美和（日体大）

矢後愛佳（日大）

世界選手権 2 位の川井友香子（至学館大）、同 65kg 級 3 位の源平彩南（至学館大）がエントリーした。全日本選抜選手権 2 位の伊藤友莉香（自衛隊）を含め、3 者の争いとなるか。

この 3 選手は、昨年の世界選手権 63kg 級代表の負傷辞退によって実施された代表決定戦で闘った 3 選手。この時は川井が伊藤、源平に連勝して代表権を獲得している。今回はどうか。

アジア選手権 65kg 級 2 位の今井海優（自衛隊）、昨年 of U23 世界選手権 60kg 級優勝の坂野結衣（警視庁）、同 58kg 級優勝で今年 59kg 級 3 位の熊野ゆづる（日大）のほか、今年 of U23 世界選手権 68kg 級 2 位の森川美和（日体大）も 2 階級落としてこの階級に挑む。国際舞台で実績のある選手で激しい闘いが展開されそう。

## 【65kg 級】

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

榎本美鈴（環太平洋大）

河内沙樹（日体大）

河内美樹（日体大）

類家直美（愛知・至学館高）

全日本選抜選手権優勝の伊藤彩香（東新住建）は負傷欠場、世界選手権 3 位の源平彩南（至学館大）は 62kg 級にエントリー。空いた座を争う中では、全日本学生選手権優勝で 9 月の世界大学選手権も制した**榎本美鈴（環太平洋大）**が一步リードか。高校進学後の 2014 年から、決勝進出はあっても優勝がなかった榎本だけに、このチャンスを生かしたいところ。

全日本学生選手権 2 位の**河内美樹（日体大）**、東日本学生選手権優勝の**河内沙樹（日体大）**、アジア・ジュニア選手権優勝の**類家直美（愛知・至学館高）**がどう挑むか。

## 【68kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

渡利璃穂（アイシン・エイ・ダブリュ）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

関 千晶（警視庁）

土性沙羅（東新住建）

福島宇美（明大）

宮道りん（愛媛・今治工高）

負傷で戦線離脱していた 2016 年リオデジャネイロ・オリンピック 69kg 級&2017 年世界チャンピオンの**土性沙羅（至学館大）**が復帰参戦。リオデジャネイロ 75kg 級代表で今年の世界選手権代表の**渡利璃穂（アイシン・エイ・ダブリュ）**に挑む。

土性がどの程度回復しているか。渡利もがんを克服して今春に復帰。世界選手権を経験し、これからが勝負の時だろう。

全日本選抜選手権決勝で渡利と激闘を展開し、終了間際に逆転負けした**関千晶（警視庁）**、インターハイ優勝の**宮道りん（愛媛・今治工高）**が優勝争いに加われるか。

## 【72kg 級】

《2018 年世界選手権代表

／全日本選抜選手権優勝》

松雪成葉（至学館大）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

進藤芽伊（日体大）

鏡 優翔（JOC エリートアカデミー／東京・帝京高）

鈴木華恋（日体大）

高橋紗織（日本文理大）

早川まい（至学館大）

世界選手権代表の松雪成葉（至学館大）は、9 月に世界ジュニア選手権に出場して 3 位に入賞し、11 月には U23 世界選手権にも出場した。世界の大舞台を続けざまに経験したことで、どれだけ実力を伸ばしているか。

全日本選抜選手権 2 位の進藤芽伊（日体大）も、7 月にアジア・ジュニア選手権で優勝し、9 月の世界大学選手権も制するなど世界へ飛躍中。成長中の学生選手の優勝争いは、どちらに軍配があがるか。

早川まい（至学館大）は 68kg 級で今年だけで 3 度の国際大会に出場（ヤリギン国際大会＝ロシア、アジア選手権、アジア・ジュニア選手権）。貴重な経験を生かせるか。インターハイ 70・74kg 級 2 連覇の鏡優翔（JOC エリートアカデミー／東京・帝京高）は、世界カデット選手権 73kg 級優勝、ユース・オリンピック同級 3 位の実績でシニアに初挑戦。

## 【76kg 級】

《2018 年世界選手権 3 位

／全日本選抜選手権優勝》

皆川博恵（クリナップ）

《2018 年全日本選抜選手権 2 位》

松雪泰葉（至学館大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

齋藤未来（日本文理大）

《2018 年全日本選抜選手権 3 位》

阿部梨乃（自衛隊）

古市雅子（ふるいち・まさこ＝日大）

75・76kg 級で 2 年連続世界選手権銅メダルの皆川博恵（クリナップ）が実力を発揮するか。全日本選手権は過去 4 回優勝しており、2 年連続 5 度目の優勝を目指す。

全日本選抜選手権 2 位の松雪泰葉（至学館大）は、全日本学生選手権で優勝したあと、世界ジュニア選手権で銅メダル獲得。しかし 11 月の U-23 世界選手権は 2 回戦敗退（8 位）に終わった。ここでしっかり勝ち、再起をはかりたいところ。

全日本選抜選手権で 3 位だった齋藤未来（日本文理大）と阿部梨乃（自衛隊）が優勝争いに加われるか。72kg 級で全日本選抜選手権 2 位、全日本学生選手権 72kg 級優勝の古市雅子（日大）がこの階級に参戦。殊勲はあるか。

(参考資料)

文田健一郎 - 太田忍の対戦成績

2017年	全日本選手権	太田 忍	○	5-4	●	文田健一郎
2017年	スペイン・グランプリ	文田健一郎	○	TF、11-1	●	太田 忍
2017年	ピトランススキ国際大会	太田 忍	○	6-2	●	文田健一郎
2017年	全日本選抜選手権	文田健一郎	○	6-2	●	太田 忍
2017年	グランマ&セーロ・ペラド国際大会	太田 忍	○	8-7	●	文田健一郎
2016年	全日本選手権	文田健一郎	○	9-7	●	太田 忍
2016年	ピトランススキ国際大会	文田健一郎	○	10-8	●	太田 忍
2014年	全日本学生選手権	太田 忍	○	TF、2:15=12-4	●	文田健一郎

向田真優 - 奥野春菜の対戦成績

2017年	ジュニアクイーンズカップ	向田真優	○	5-0	●	奥野春菜
2016年	全日本選手権	向田真優	○	6-2	●	奥野春菜
2015年	全日本選手権	向田真優	○	7-5	●	奥野春菜
2014年	ジュニアクイーンズカップ	向田真優	○	7-0	●	奥野春菜
2014年	クリッパン女子国際大会	向田真優	○	Tフオール、13-2	●	奥野春菜
2013年	JOC杯ジュニアオリンピック	向田真優	○	2-0(1-0,TF6-0=0:35)	●	奥野春菜
2012年	全国中学生選手権	向田真優	○	2-0(3-0,6-4)	●	奥野春菜
2012年	JOC杯ジュニアオリンピック	向田真優	○	2-0(1L-1,TF8-2)	●	奥野春菜

伊調馨 - 川井梨紗子の対戦成績

2013年	全日本選手権	伊調 馨	○	Tフオール、5:23=7-0	●	川井梨紗子
2014年	全日本選抜選手権	伊調 馨	○	4-0	●	川井梨紗子
"	全日本選手権	伊調 馨	○	6-0	●	川井梨紗子

日本で実現した現役世界チャンピオン同士の対戦

2014年	全日本選手権53kg級	吉田沙保里 (53kg級世界優勝)	○	フオール、0:53=2-0	●	浜田千穂 (55kg級世界優勝)
2007年	クイーンズカップ63kg級	伊調 馨 (63kg級世界優勝)	○	2-0(1-0,3-0)	●	正田絢子 (59kg級世界優勝)
2006年	全日本選手権63kg級	伊調 馨 (63kg級世界優勝)	○	2-0(1-0,2-1)	●	正田絢子 (59kg級世界優勝)
2006年	全日本選手権55kg級	吉田沙保里 (55kg級世界優勝)	○	2-0(2-0,4-0)	●	坂本日登美 (51kg級世界優勝)
2004年	クイーンズカップ55kg級	吉田沙保里 (55kg級世界優勝)	○	6-1	●	山本聖子 (59kg級世界優勝)
2003年	全日本選手権55kg級	吉田沙保里 (55kg級世界優勝)	○	4-0=6:58	●	山本聖子 (59kg級世界優勝)
1995年	全日本女子選手権47kg級	山本美憂 (51kg級世界優勝)	○	5-3=4:34	●	足立美穂 (47kg級世界優勝)
1994年	女子東西対抗戦	足立美穂 (47kg級世界優勝)	○	5-4=4:14	●	吉村祥子 (44kg級世界優勝)
1991年	全日本女子選手権70kg級	浦野弥生 (75kg級世界優勝)	○	フオール、1:04	●	岩間利香 (70kg級世界優勝)
1965年	全日本学生選手権57kg級	福田富昭 (57kg級世界優勝)	○	判 定	●	吉田嘉久 (52kg級世界優勝)

※2006年の全日本選手権は2007年1月に実施